



# ～若き心 集まるところ～

No.8

全ての台中生の『心の笑顔』と『成長』のために

## 後期が始まりました！互いの“違い”を受け入れながら繋がっていく後期に！

昨年度に続いて、10月に入っても汗ばむほどの暑い日が続いていましたが、ようやく秋を感じられるようになりました。後期始業式では、最初に校歌を歌いましたが、音楽科の横川先生の「後期最初の全校で歌う校歌です。日本一の校歌を目指してこの体育館いっぱいに歌声を響かせてください。」との呼びかけに、3年生が引っ張り、素晴らしい校歌になりました。「日本一」への道のりはまだまだ続きますが、全校生徒が「台中生」という共通点で一つになった素敵な場面でした。始業式では、『多様性』について、次のような話をしました。

今から皆さんに3つの場面を示します。その人についてどう思うか考えて、周囲の人と伝え合ってください。

- ①「バスの中で、目の前に高齢の人が立っているのに、優先席に座って、席を譲ろうとしない若い人」
- ②「街中で、ベビーカーに乗った赤ちゃんが泣いているのに、スマホに夢中になっている母親」
- ③「顔を見て『おはよう』って挨拶しているのに、何の反応も返してこない人」

多くの人が、「それはよくないよ」「おかしいでしょ」と考えたかもしれません。少し話は変わりますが、「多様性」という言葉を聞いたことがあると思います。英語では「ダイバーシティ」と言います。「多様性のある社会を作る」とか「多様性を尊重する人になる」など、聞いたことがある人もいるかもしれません。世の中にはたくさんの人がいて、性別、人種、国籍、年齢、価値観、経験、好き嫌い、コミュニケーションの取り方など、すべてが自分と同じ人は存在しません。だからこそ、自分と異なる他者をどう受け入れるかが大切です。

例えば、価値観や好みが同じ、または近い人とだけ付き合っていくのは、ストレスも少なく、心地いいかもしれませんが、様々なことが自分と異なる人と付き合うのはどうでしょうか？「そんなのどこがいいの？」「それは違うよ」と考えれば、距離は離れていきます。しかし、「どんなところがいいの？」「そういう考えもあるよね」と考えられたら、自分の世界が広がるはずですよ。

3つの場面を思い出してください。パツと見て、すぐに「それはだめだ、違う！」と決めつける前にその状況から「～かもしれない」「～なのかな」というように色々なことを想像してみることも、時には必要です。

- ①「この若い人は、足にけがをしているか、具合が悪いのかもしれない・・・」
- ②「赤ちゃんが急な高熱で、病院を探しているのかもしれない・・・」
- ③「何か辛いことがあって落ち込んでいるのかな・・・」

もちろん、その場ですぐに判断して行動を起こさなければならぬケースもあります。しかし、自分の価値観や考え方と違うことに出会ったときに少し立ち止まることも大切です。

「～かもしれない」「～なのかな」と想像したり、「そういう考えもあるな」と理解しようとしたりすることが、「違い」や「多様性」を認め合う第一歩になります。「違い」を認め合うことは、自分を高め、魅力ある人にしていくことに繋がります。今、ここにいる台中生、先生方は、考え方や生まれ育った背景、得意なこと、苦手なこと、様々な違いがありますが、「鶴が台中学校」という共通点があります。それだけで十分、認め合い協力し合える仲間になれるはずです。さらに、それ加えて、同じ学年、同じクラス、同じ部活動など、共通することを大切にすれば、違いはたくさんあったとしても、よりよい関係性が作れます。台中生が、台中生であるという一つの共通点で繋がり、互いの違いを認め合いながら、クラスや学校などの集団としての目標に向かって進んでいく、そんな後期にしてほしいと思います。



## お知らせ 12月1日(月) 地区中学校長会主催人権セミナー

10月22日にコクーにてお知らせしましたが、本セミナーが本校体育館で行われます。講師は私の古くからの友人で、本校生徒のために福岡県から来ていただくことになり、中学校長会・教頭会協力のもと、教職員、保護者、地域の方を対象とした講演会も開催できることになりました。

講師の坂井さんは、福岡県内の中学校の社会科教員として、また吹奏楽部の顧問として長い間ご活躍されました。学生時代には様々な葛藤がありながら、「吹奏楽で日本一になりたい」という思いを大事にして進路を決めたことなど、ご自身の経験を穏やかな「博多弁」でお話しくれます。

「性の多様性～」という演題ではありますが、『私は私』『あなたはあなた』・・・誰もが大切な存在であること、そして自分と同じように相手も大切にすることの必要性を伝えてくれます。

茅ヶ崎に来ていただけるのも最後の機会になるかもしれませんので、保護者の皆様も是非ご参加いただき、坂井さんのお話を聞いた生徒たちと意見を共有していただければ嬉しいです。

茅ヶ崎市立鶴が台中学校長会主催人権セミナー



場所 鶴が台中学校 体育館

講師 Rainbow Pallet 代表 坂井 明代さん

1963年福岡生まれ、福岡県在住。元公立中学校社会科教員。現在、LGBTQに対する正しい理解促進のため、小・中学校や高校で授業・講演・教職員向け、地域などで市民向け講演を行っている。

講演会も、いじめやインターネットでの誹謗書き込みなど、人権侵害事例が後を絶たない中、子どもたちが「性の多様性」について正しい理解し、性差の異なる性の一員として豊かな人間性を磨いていけるよう支援したいという思いから、講演会を開催しています。

自身の経験や中高時代の多様な交友関係から、「LGBTQ」とは何か？と多様な性について考えている人たちのために講演を行っています。子どもたち、手ごたえのいいと、多様な性や性差を学ぶ学校や家庭、地域の大人たちへ、

茅ヶ崎では、令和5年度茅ヶ崎教育委員会主催で茅ヶ崎市立鶴が台中学校長会主催の講演会を開催し、講演会から話し合いの場が生まれました。この場、一歩前進に引き継ぎ、後継者から話し合いの場が生まれます。『多様な性や性差を学ぶ学校や家庭、地域の大人たちへ』

◎講演会は無料です。受付は15時～、終了時刻は17時を予定しています。  
 ◎講演会・一般の公開は、後援・協賛、委託は17時で終了します。  
 ◎LGBTQに関する講演・指導員を入れる際には事前にお知らせください。  
 ◎講演会の申し込みは2週間前からの申し込みをお願いします。

お問い合わせ 茅ヶ崎市立鶴が台中学校 教務課 0467-31-1170



## 生徒会本部役員による一年の始まりです！

始業式では、旧生徒会本部役員に感謝状、新役員に任命状を渡し、新たな本部役員による活動が始まりました。旧生徒会本部役員は、「自分たちの台中をもっとよくしたい！」という強い思いが感じられる活動に積極的に取り組みてくれました。アロハデーとコラボした朝の挨拶キャンペーンをはじめ、この一年間の皆さんの頑張りは間違いなく台中を変えてくれました！心から感謝します。

新生徒会本部役員がこのバトンをしっかりと引継ぎ、新しいメンバーだからこそできる様々な取組で、全ての台中生が安心して過ごせる学校づくりを進めてくれることを期待しています！



## ～台中生の活躍～ 第40回茅ヶ崎寒川地区英語弁論大会 10月18日 茅ヶ崎市民文化会館

多くの部活動では3年生が引退し1、2年生中心の活動が始まりました。各部では秋の大会が行われたり、吹奏楽部が地区音楽会等に出演したりするなど、学校外の様々な場面で、台中生が普段とは違う姿で活躍する機会が増えています。10月18日には、第40回となる地区英語弁論大会が開催されました。

今年度は3年生2名が出場しました。それぞれ“To Be the Bridge Between Chigasaki and Honolulu”、“The Charm of Sea Glass”と題し、英語で堂々としたスピーチを披露しました。二人とも、“本当に伝えたいこと”を顔の表情やジェスチャーだけでなく、豊かな表現力で聴衆に伝えていました。多くの人を前に、自分の考えや思いを母語ではない外国語で表現することはとても大変なことです。本番の数日前には校長室でリハーサルをし、私からも少しだけアドバイスをしましたが、本番では、二人ともリハーサルから数段階レベルアップし、素敵なパフォーマンスを披露してくれました！

弁論大会での写真が入ります。

### 見つけた！台中生！

I found something nice about DAICHU-SEI!!!



10月のある日、職員室前の廊下が急に華やかになったと目をやると、家庭部の素敵な作品の数々が飾られていました。色鮮やかな作品に気づき足を止める生徒たちは、じっと見ながら自然と笑顔になっていました。

部活動はスポーツでも文化活動でも、自分が好きなことに熱中できる場です。作品や演奏に触れた人の心を動かしたり、穏やかな気持ちにさせたり・・・家庭部をはじめとした文化部の活動は、観客を魅了するようなスポーツのワンプレーにも負けない、価値のあるものだと感じる瞬間でした！



先日の合唱コンクールには多くの保護者の皆様にご参観いただきました。各クラスが当日の最高のステージに向けて仲間とともに一つの目標に向かって練習してきた成果を見ていただけたと思います。本校で歌い継がれてきた3年生の学年合唱「大地讃頌」は会場を感動で包み込む素敵な瞬間となりました。お手伝いいただいた保護者会の皆様にも暑く御礼申し上げます。

1年生は学年閉鎖により、残念ながら当日はステージに立てませんでした。11月18日(火)に文化会館小ホールで学年の合唱コンクールを開催します。1年生の保護者の皆様には是非ご覧いただければと思います。

### 教頭先生のつぶやき・・・

皆さんは、お気づきですか？先月20日に体育館南側(校門側)の花壇に「ピオラ」が植えられていることを。ピオラの花言葉は「信頼」・「誠実」です。これまでは地域ボランティアの方に植えていただいていた。今回は7組の生徒と地域ボランティアの方が一緒になって100株のピオラを植えてくれました。今はつぼみや小さな花しか付けていませんが1ヶ月もすると色鮮やかな花を咲かせてくれると思います。花壇を見たとき、7組の皆さんの顔を思い浮かべてくれると嬉しいです。